

外来Ⅲ

■救急外来
■心カテ室・胃腸センター



おもな疾患

ショック、うっ血性心不全、急性冠症候群、不整脈、肺炎、気管支喘息、気胸、感冒、インフルエンザ、腎盂腎炎、尿路結石、虫垂炎、腸閉塞、急性胃腸炎、急性膵炎、胆道系感染、失神、めまい、意識障害、低血糖、電解質異常、大量服薬、骨折、交通外傷など。内視鏡検査や治療が必要な消化器系の疾患、心カテが必要な循環器系の疾患

看護の内容

心カテ室・胃腸センター：
心カテ、胃カメラ、大腸内視鏡などの検査や治療を受ける患者さまに安心して検査を受け入れられるよう適切な説明を行い、声掛けをする。スムーズに検査が行えるように処置を行い、医師の介助を行う。
救急外来：
一刻も早く医師が診断をつけ、迅速に治療を開始できるような検査や処置を行う。異常を早期に発見し、重篤化を防ぐように観察。不安な気持ちのご家族に状況説明や声掛けなど。

スタッフからのメッセージ

中央処置室、心カテ室、胃腸センター、救急外来などの業務を担当。覚えることも多い分、たくさんのご協力ができるようになります。どうすれば患者さまの苦痛や負担を軽減し、スムーズに検査が行われるかなど、スタッフが一丸となって患者さまと向き合いながら奮闘しています。忙しい部署ですが、各自が自分の適性を見出し、その道を極められるように勉強会に参加するなど、達成感ややりがいが見られる事、間違いなしです！

整形外科



おもな疾患

頚椎症、腰部椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、圧迫骨折、変形性股関節症、変形性膝関節症、肩関節周囲炎、関節リウマチ、骨粗鬆症や交通事故、転倒、スポーツによる打撲や骨折。腰・膝・股関節の全身麻酔手術や腱鞘炎やばね指などの日帰り手術。

看護の内容

毎日100～200名の患者さまが受診されます。初診の方にはしっかりと問診の聞き取りを行うので医師の診察がスムーズになります。骨粗鬆症や関節リウマチで自己注射を行う患者さまには自己注射の手技指導を行ったり、地域のサロンや支部で骨粗鬆症について啓蒙活動を行っています。

スタッフからのメッセージ

医師6名、看護師10名、クラーク2名で勤務しています。各曜日で医師の診療体制が決まっていますが、女性の医師もいる為女性の方でも安心して受診する事ができます。看護師は子育てしながら働くメンバーも多く、みんな明るく元気でたくましい女性ばかりです。そんなメンバーで若い看護師を温かく育てています。

外科



おもな疾患

外傷や蜂窩織炎、胆石症・鼠径ヘルニア・腹壁ヘルニア・急性虫垂炎・内痔核・外痔核・痔瘻・粉瘤・嵌入爪などの良性疾患と悪性疾患（大腸癌・直腸がん・胃がん・肝がん、その他の消化器がん、乳がん・甲状腺がんなどのがんや悪性リンパ腫など）の方をみています。

看護の内容

外傷や創処置、切開排膿や縫合の介助などの外来手術介助があります。がんと診断された方や入院治療の必要な方の術前術後（入院前後）のフォローから抗がん剤の投与による副作用のチェックも重要視しています。また外来での抗がん剤治療も安全に行えるよう、医師・薬剤師とも連携をとりながら実施しています。またがんの術後は10年以上通院していただく場合もあります。15年以上前から消化器がんと乳がんは患者会があり、職員も一緒に患者さまの療養生活を支えるお手伝いをしています。

スタッフからのメッセージ

外科外来に通院される全ての方が、自分自身の病状がわかり、安全・安心そして満足して外来診療をうけていただけるよう、医師をはじめとする医療チームで日々務めております。